

## シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	国内実務総合						
学科・コース	総合観光サービス科						
担当教員	白鳥佑弥						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	前期	必修	90	6	
授業目的 到達目標	国内旅行で使用する交通手段の規則や運賃・料金計算手法の基礎知識習得を目標とします。 JR、航空、貸切バス、フェリー等について理解し、国内旅行業務取扱管理者試験に挑戦します。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	用語の定義と在来線・新幹線の基礎知識			① JR在来線&新幹線の基本と 運賃・料金計算の理解 ② 宿泊規則と料金体系の理解 ③ 貸切バス規則と料金計算の理解 ④ フェリー規則と料金計算の理解		
	3～10	JR運賃の計算・特例と割引					
	11～20	JR運賃計算演習					
	21～28	JR料金の基本					
	29～34	JR料金の特例					
	35～44	JR運賃・料金計算演習					
	45～50	団体旅客の取扱い					
	51～56	乗車券類の取扱い					
	57～64	国内航空規則と料金計算					
	65～68	宿泊規則と料金体系					
	69～73	貸切バス規則と料金計算					
	74～75	フェリー規則と料金計算					
	76～90	総合演習					
成績評価方法	評価試験60%、小テスト30%、出席率・学習意欲10%						
使用テキスト ／教材	2025年版 ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン、 科目別問題集、国内運賃料金テキスト、JR時刻表						
関連科目							
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	観光地理Ⅰ						
学科・コース	総合観光サービス科						
担当教員	乗松陽子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	日本国内における観光資源の知識習得を目標とします。世界遺産・国宝・名所・温泉・祭・名産品などについて、所在地・プロフィールなど観光資源全般について学びます。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～8	国内の観光基礎情報（都道府県、世界遺産、交通）			① 国内旅行業務取扱管理者レベルの観光地理知識  ② 観光資源の歴史背景やおすすめポイントの理解  ※都市、名所、史跡、自然、温泉、観光施設、祭事・芸能・文化、料理・名産品、民芸・工芸品、世界遺産などの情報		
	9～16	温泉地や周辺観光素材、日本三大・三名地					
	17～24	北海道・東北地方の観光情報					
	25～36	関東・中部地方の観光情報					
	37～40	近畿地方の観光情報					
	41～48	中国・四国地方の観光情報					
	49～56	九州地方・沖縄の観光情報					
	57～60	まとめ					
成績評価方法	評価試験30%、小テスト20%、サブノート仕上げ30%、出席率・学習意欲20%						
使用テキスト／教材	国内観光資源、国内観光資源サブノート、旅地図日本						
関連科目	観光地理Ⅱ、観光素材概論						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	旅行業法規						
学科・コース	総合観光サービス科						
担当教員	杉山三幸						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	前期	必修	60	4	
授業目的 到達目標	旅行業法・旅行業約款の学習を通して旅行現場で働く上で必要な規則を理解できることを目標とします。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	旅行業法（目的・定義・登録制度・営業保証金など）			① 旅行業法の理解 ② 旅行業約款の理解 ③ 旅行申込後の解約・払い戻し計算 ④ フェリー約款の理解 ⑤ 宿泊約款の理解 ⑥ 貸切バス約款の理解		
	5～8	旅行業法（取扱料金・取引条件説明・書面交付など）					
	9～12	旅行業法（広告・旅程管理・受託契約・など）					
	13～16	旅行業法（禁止行為・登録取消・業務改善命令など）					
	17～20	旅行業約款（募集型企画旅行契約）					
	21～24	旅行業約款（受注型企画旅行契約）					
	25～28	旅行業約款（特別保証・旅行相談契約）					
	29～32	旅行業約款（国内旅客運送、宿泊モデルなど約款）					
	33～36	旅行業約款（貸切バス、フェリー、JRなど約款）					
	37～60	答案練習					
成績評価方法	評価試験80%、 出席率・学習意欲20%						
使用テキスト ／教材	2025年版 ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン						
関連科目	旅行業務応用						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ツアープランニング基礎							
学科・コース	総合観光サービス科							
担当教員	白鳥佑弥							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
演習	・実習	1	通年	必修	30	1		
授業目的 到達目標	旅行のプランニング基礎を学び、作成したプランを実際の研修として行くことで、旅行の楽しさや難しさを実感することを目標とします。実地研修時では、添乗員として誘導・案内も受け持ちます。							
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業	○	フィールドワーク	○
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ	
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
	1～2	旅行業界・旅行会社の仕事内容について			① 旅行業界・旅行会社の業務 ② 国内旅行の企画作成 ③ 添乗員の旅程管理業務			
	3～4	実施日に向けての作業内容指示、旅行会社より行程作成の助言						
	5～6	行程完成確認、担当役割分担、行程作成手直し、役割分担下調べ						
	7～8	行程作成の下調べ						
	9～10	行程作成進捗確認、助言						
	11～12	行程確認						
	13～14	実施前プレゼン、レポート提出						
	15～16	行程作成手直し						
	17～18	最終行程の完成・添乗準備						
	19～26	国内研修						
	27～28	実施後のレポート作成						
	29～30	実施後の報告プレゼン、総合まとめ						
成績評価方法	報告プレゼン50%、小テスト30%、出席率・学習意欲20%							
使用テキスト ／教材	旅行会社作成資料、ワークシート（行程作成用データ）							
関連科目	ツアープランニング応用							
その他	※職業実践専門課程の「企業連携授業」として、旅行会社との連携授業である ※実務経験のある教員が担当する科目である							

## シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	旅行業務基礎						
学科・コース	総合観光サービス科						
担当教員	乗松陽子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	後期	必修	60	4	
授業目的 到達目標	旅行・観光業界で働く上で必要な知識と基本業務の流れを理解できることを目標とします。移動手段や宿泊施設・食事など、様々な旅行商品を的確に選択する方法や、添乗業務全般について学外研修等で学びます。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～12	旅行会社の仕組み等、旅行業界の全般的な知識			① 国内旅行パンフレットの基本知識 ② 旅行代金算出方法 ③ お客様の要望に応じた施設提案 ④ パンフレット取引条件説明の理解		
	13～24	パンフレット料金計算（大人）					
	25～32	カウンターでの接客ロールプレイング①					
	33～44	パンフレット料金計算（子供含む複雑パターン）					
	45～52	カウンターでの接客ロールプレイング②					
	53～60	まとめ					
成績評価方法	評価試験50%、課題提出30%、出席率・学習意欲20%						
使用テキスト ／教材	旅行会社パンフレット、パソコン						
関連科目	旅行業務応用						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	海外渡航基礎						
学科・コース	総合観光サービス科						
担当教員	今井美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	後期	必修	30	2	
授業目的 到達目標	海外渡航に必要な基礎知識習得し、お客様へ海外渡航の魅力や注意点を説明できることを目標とします。海外渡航における基本的な流れと知識（世界の国・都市名、旅券・査証、入出国、時差など）を学びます。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	オリエンテーション、海外の国名と主な都市名			① ヨーロッパ・東南アジアの 国名首都名及び主な都市名 ② 出入国の流れとCIQの役割 ③ 世界の主要航空会社2レターコード 及びアライアンスの関係 ④ 世界の主要空港3レターコード ⑤ 世界の時差計算 及び所要時間の計算		
	3～6	海外の国名と主な都市名					
	7～10	国内外の空港コード（3レター）					
	11～14	国内外の航空会社コード（2レター）					
	15～16	アライアンス					
	17～18	小テスト					
	19～22	出入国知識（旅券・査証・CIQ）					
	23～26	時差・所要時間計算					
	27～30	答案練習（総復習）					
成績評価方法	期末試験60%、小テスト30%、出席率・学習意欲10%						
使用テキスト ／教材	教員作成資料、OAG世界時差表						
関連科目	海外実務総合、航空端末オペレーション						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	観光産業と地方創生							
学科・コース	総合観光サービス科							
担当教員	白鳥佑弥							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
講義	・演習	1	後期	必修	30	2		
授業目的 到達目標	観光産業拡大と共に持続可能な地域づくりを支援・推進するための組織や機能について理解することを目標とします。地域資源の活用や受け入れ施設の整備など、成功例・先進例・課題点を学び、観光の視点で解決する力を身につけます。							
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業	○	フィールドワーク	○
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ	
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
	1～2	導入、観光が人・社会にもたらす効果			① 観光産業が日本経済にもたらす役割 ② 観光産業と地方創生の関係性 ③ 観光地域づくり法人（DMO）と観光協会の役割			
	3～6	観光資源と観光対象						
	7～10	観光産業と観光ビジネスの特徴						
	11～14	旅行会社と交通・宿泊・観光施設との関わり						
	15～16	国・地方における観光振興組織と観光政策						
	17～18	地方創生×観光の具体的事例						
	19～22	静岡県観光協会の取り組み						
	23～26	熱海観光局の取り組み						
	27～30	まとめ						
成績評価方法	期末試験40%、課題レポート30%、出席率・学習意欲30%							
使用テキスト ／教材	講師作成資料							
関連科目	観光資源探求							
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である							

## シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	観光業界キャリアビジョン							
学科・コース	総合観光サービス科							
担当教員	白鳥佑弥							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
演習	・実習	1	後期	必修	30	1		
授業目的 到達目標	自身のキャリアプランを描き、夢実現のために準備をします。旅行・バス・鉄道会社等の現場視察を通して表向きだけではなく様々な業務・事情を知ること、即戦力として長く働くためのマインドを育成します。							
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業	○	フィールドワーク	○
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ	
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
	1～2	導入、仕事説明、希望職種アンケート			① 目指す職業でのキャリアの理解 ② 業界・企業の特徴 ③ 仕事の「大変さ・やりがい」の理解 ④ 業務上必要となる力の理解			
	3～4	業界・企業の特徴、業界で必要な力について						
	5～10	現場視察企業の研究						
	11～24	現場視察研修						
	25～30	研修まとめ、業界・企業研究						
成績評価方法	課題レポート70%、出席・参加態度30%							
使用テキスト ／教材	教員作成資料							
関連科目								
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である							